


15. 反キリストとはだれなのか？

このページのプリント 

反キリストとはだれでしょうか？または何でしょうか？悪の同盟？または悪巧みをしている一人のことでしょうか？ある人は、反キリストはこれから現れると言っていますが、古代ローマの時代にすでに現れたと言う人もいます。けれども聖書は、反キリストは今日存在していると言っているのです！聖書の預言は、この反キリストの勢力が、地球歴史の最後の出来事において重要な役割を演じると教えています。あなたは反キリストがだれなのかご存知ですか？それは確かですか？あなたがこの悪の力のことを理解するまでは、世の終わりの出来事を理解することはできませんので、反キリストがだれなのかということを知る必要があるのです。最も興味深い聖書研究講座の一つを学びますので、どうぞご用意ください！

この聖書講座は、ダニエル書 7 章に基づいており、明確に、間違うことなく、反キリストがだれかを見極めます。けれどもそれは序論にすぎません。これからの学びにおいて、世界的に強い影響を及ぼしている彼のいくつかの活動の詳細を明らかにします。今日あなたが学ぶことは、あなたに不快感または悲しみを与えてしまうかもしれませんが、覚えていただきたいことは、ダニエル書 7 章は、あなたが愛しているイエスから来ている預言です。この緊急課題を探求するにあたり、神の導きをお祈りしてください。そしてこの講座を学ぶ前に、必ずダニエル書 7 章をお読みください。



1. ダニエル書 7 章が始まると、ダニエルは四つの獣が海から上がってくるのを見ました。預言において獣は何を象徴しますか？海は何を象徴しますか？

「第四の獣は地上の第四の国である。」ダニエル書 7:23 「あなたの見た水 ... は、あらゆる民族、群衆、国民、国語である。」ヨハネの黙示録 17:15

答え：獣は王国や国々を象徴します。水は群衆や人口密集地を象徴します。



預言では、神は国家を象徴するために獣を用いられる。

2. ダニエル書 7 章の四つの獣は、四つの世界帝国を象徴しています (17, 18 節)。はじめの帝国であるバビロン (ダニエル書 2:38,39) は、ダニエル書 7:4 で、ししとして象徴されています (エレミヤ書 4:7 ; 50:17,43,44 にも、バビロンがししとして描写されていますのでご参照ください)。では、「わしの翼」という意味は何ですか？ 2 節の「四方からの風」は何を象徴するのですか？



ダニエル書7章の獣、ししはバビロン帝国を象徴する。

「すなわち主は ... はげたかが飛びかけるように(わしが速く飛ぶように - 欽定訳聖書)、あなたに攻めきたらせられるであろう。」申命記 28:49 「万軍の主はこう仰せられる ... 大きなあらし(つむじ風 - 欽定訳聖書)が地の果からおこる。その日、主に殺される人々は、地のこの果から、かの果に及ぶ。」エレミヤ書 25:32, 33

答え：わしの翼は、スピード（速さ）を象徴しています。（エレミヤ書 4:13、ハバクク書 1:6-9 を参照）。風は、闘争、騒乱、破壊などを象徴しています。（ヨハネの黙示録 7:1-3 を参照）。

3. 熊は、どの王国を象徴しますか(ダニエル書 7:5)? 口にくわえている三本の肋骨の象徴は何ですか?

答え：ダニエル書 8 章をお読みください。8 章の獣と、7 章の獣は、それぞれが平行して書かれています。ダニエル書 8:20 で、具体名が書かれているメド・ペルシャは、21 節の雄やぎであるギリシャの前に興る帝国です。これは第二の世界帝国であり、ダニエル書 7 章に熊として書かれているものと同じ権力です。この帝国は、二つの群衆から成り立っています。最初にメディアが興り(ダニエル書 7:5 で、熊が体の一方を上げていたと書かれていることで象徴されています)ますが、最終的にペルシャが強くなります(ダニエル書 8:3 で、雄羊の二つの角のうち、一つの角がほかの角よりも長くなったと書かれていることで象徴されている)。三本の肋骨は、メド・ペルシャが征服した三つの主要国メディア、バビロン、エジプトを指しています。



三本の肋骨を口にくわえた熊は、メド・ペルシャを象徴する。

4. 第三の帝国であるギリシャ (ダニエル書 8:21) は、四つの翼と四つの頭を持ったひょうで象徴されています (ダニエル書 7:6)。四つの頭は何を象徴していますか? また、四つの翼は何を象徴していますか?



ダニエル7章のひょうはギリシャ帝国を象徴する。

答え：四つの頭は、アレキサンダー大王が死去したのち、彼の王国から分裂した四つの王国を象徴しています。それらの分裂した領域の頭となった 4 人の将軍たちは：カッサンドロス (Cassander)、リュシマコ (Lysimachus)、プトレマイオス (Ptolemy)、セレウコス (Seleucus) です。四つの翼 (ししのような獣の二つの翼に代わり) は、超高速を意味しており、アレキサンダー大王が、瞬間に世界征服を成し遂げたことに当てはまります (エレミヤ書 4:11-13)。

5. 第四の世界帝国であるローマ帝国は、鉄の歯と、十の角を持つ恐ろしい、ものすごい、非常に強い獣 (ダニエル書 7:7) として象徴されていますが、角は何を象徴していますか?

答え：十の角は、異教ローマから最終的に分裂した十人の王たち、または十の国々を象徴しています (ダニエル書 7:24)。(これらの 10 の国々は、ダニエル書 2:41-44 で描写されている 10 本の足の指と同じものです)。流浪の蛮族が、ローマ帝国を追いやり、その地を彼らの部族のために奪い取ってしまいました。十の部族のうちの七つは、現代の西ヨーロッパの国々に発展していますが、そのうちの三つは、根こそぎ抜き取られ滅ぼされてしまいました。次の質問では、抜き取られた国々について学びます。

- 西ゴート (Visigoths) -- スペイン
- アングロサクソン (Anglo-Saxons) -- イギリス
- フランク (Franks) -- フランス
- アレマニイ (Alemanni) -- ドイツ
- ブルグント (Burgundians) -- スイス
- バーガンディアンス (Burgundia) -- イタリア
- スエヴィ (Suevi) -- ポルトガル
- ヘルリ (Heruli) -- 抜き取られ滅亡



ダニエル書7章の恐ろしい獣はローマ帝国を象徴する。

東ゴート (Ostrogoths) -- 抜き取られ滅亡
バンダル (Vandals) -- 抜き取られ滅亡

6. ダニエル書7章の預言では、次に何が起こりますか？

「わたしが、その角を注意して見ていると、その中に、また一つの小さい角が出てきたが、この小さい角のために、さきの角のうち三つがその根から抜け落ちた。見よ、この小さい角には、人の目のような目があり、また大きな事を語る口があった。」ダニエル書 7:8

答え：次に、「小さい角」の権力が現れます。私たちはこれを慎重に特定していかなければなりません、なぜなら神は、これまでの四つの王国を合わせた以上の説明を、この小さい角の説明のために費しておられるからです。なぜでしょうか？それは聖書が教えている小さい角の特徴を調べると、小さい角は、預言と歴史上の反キリストであることが明らかなのです。この証明を確かなものにしなければなりません。



ダニエル書7章の一つの小さい角は反キリストを象徴する。

7. 反キリストを識別するための明確なポイントがありますか？

答え：神は私たちに、ダニエル書7章に書かれている反キリストに関して、九つの特徴を与えてくださっていますので、反キリストがだれであるのかを確実に特定することができます。ある方々は、神のみ言葉の真理を知って心が痛むかもしれませんが、これらのことは、神がみ旨をお示しになっているのであると素直に受け入れる必要があります。では、イエスが示してくださっている九つの項目を学びましょう。

A. 「小さい角」または王国は、「それら（十の角）の間から出てきた」（ダニエル書 7:8 欽定訳聖書） -- これらの十の角は、西ヨーロッパの国々でした。ですから、その小さい王国は、西ヨーロッパのどこかに存在していたはずで

B. その王国は、組織の頭（かしら）として語る、ひとりの人間が存在しています。（ダニエル書 7:8）

C. 三つの王国を引き抜きます。（ダニエル書 7:8）

D. ほかの十の王国とは「異なっ

E. 聖徒たちと戦って、彼らを「悩ませ」、または迫害します。（ダニエル書 7:21, 25）

F. 第四番目の世界帝国である異教ローマ帝国から出現しました。（ダニエル書 7:7, 8）

G. 神の民（聖徒たち）は、「ひと時と、ふた時と、半時の間」「彼の手にわたされ」ました。（ダニエル書 7:25）

H. 「いと高き者に敵して言葉を出し」、または、神を冒涇します（ダニエル書 7:25）。ヨハネの黙示録 13:5 では、この同じ権力が「大言を吐き汚しごと」を語ったと述べています。

I. この権力は、「時と律法とを変えようと望む」。（ダニエル書 7:25）

忘れてはならないこと -- これらすべての反キリストを見分けるための項目は、聖書から直接にきているもので、単なる人間の意見や、憶測ではありません。歴史家は、これらの説明で、この権力が何かをすぐに定めることができるでしょう。上記の項目は、ただひとつの権力にのみ一致します -- それはローマ法王権です。けれどもこれを確実にするために、九つの項目すべてを慎重に吟味していきましょう、疑いの余地はまったくなくなるはずで



反キリストは神の民を迫害すると聖書は言う。

8. ローマ法王制度は、これらの項目に一致しますか？



法王制度は、九つの識別項目すべてに明らかに一致す

る。

解説：ローマ法王制度はこれらのすべての項目に、完璧に一致しています。下記の A から H をご覧ください。

A. 西ヨーロッパの、10 の国々の「間から出てきた」。

ローマ法王権の地理的な位置は、イタリアのローマにありました -- そこはまさに西ヨーロッパ地域の中心地です。

B. 組織の頭（かしら）として語る、ひとりの人間（法王）が存在しています。

ローマ法王制度は、この特色に該当します、なぜなら組織の代表者として語る頭（かしら）であるひとりの人間（法王）がおります。

C. 三つの王国を引き抜いてしまいます。

西ヨーロッパの皇帝たちは、ほとんどがカトリックであり、法王制の発展と権威を支持しました。しかしながら、アリウス主義を信じる三カ国、パンダル、ヘルリ、東ゴートは、法王制度を支持しませんでした。そのため、カトリックの皇帝たちは、彼らを征服するか滅ぼさなければならないと決断しました。神学者であり、歴史家であるマーヴィン・マックスウエル博士は、彼の著書 *God Cares* (volume 1, 129 ページ) で、その結末を説明しています。「カトリックの皇帝であったゼノン(474-491)は、487年に、東ゴートと協定を結び、それは、493年のアリウス派のヘルリ王国の崩壊という結果になった。また、カトリックの皇帝ユスティニアヌス(527-565)は、534年に、アリウス派のパンダルを倒し、538年にはアリウス派の東ゴートの勢力が著しく衰えた。それゆえダニエル書の三つの角 -- ヘルリ、パンダル、東ゴート -- が根から抜け落ちたということになる。」ローマ法王制は、これらの記述に該当するということが容易にわかります。

D. ほかの王国とは「異なって」います。

ローマ法王制は明らかにこの記述にも当てはまります。それは宗教的な勢力として現れ、非宗教的な特徴を持つ、ほかの10の国々とはまったく異なっていました。

E. 聖徒たちに戦いを挑み、そして迫害します。

この教会が、聖徒たちを迫害したことは周知のとおりです。ローマ法王制も、明らかにそれを認めており、多くの裏付けとなる証拠が存在しています。保守的な歴史家たちでさえ、教会は、宗教的信念に関する事柄で少なくとも5千万人以上の人々を殺害したと述べています。ここで二つの資料から引用します。

1. 「ローマ教会が、人類史上に存在してきたほかのどの組織よりも、罪なき人々の血を流したことは、優れた歴史の知識を有するプロテスタント教徒であればそれを疑問視する者はいない。」¹
2. *スペインの宗教裁判の歴史* という書物の中で、D. アイヴァン・アントニオ・ジョレンテ (D. Ivan Antonio Llorente) は、スペインにおける宗教裁判での真実を数字で公表しています：

- 31,912 人が有罪となり、火刑に処されました。
- 241,450 人が有罪となり、酷刑に処されました。

F. 四番目の世界帝国である異教ローマ帝国から出現しました。

この点に関して、二つの権威ある書物から引用します：

1. 「強大な力を持つカトリック教会は、バプテスマを受けたローマ帝国にすぎない ... 古代ローマ帝国の首都そのものが、キリスト教帝国の首都になった。最高神祇官 (Pontifex Maximus) の地位は教皇に譲られ継続された。」²
2. 「蛮人やアリウス主義が残したローマの要素は、いかなるものであってもローマの司教の下で保護された。彼は、皇帝が去った後、そこでの主要な人物となった。このローマ教会は、内密のうちにローマ世界帝国の地位に自らを押し上げた。これは実際の継続である。」³ これらの記述も法王制に当てはまります。

G. 神の民(聖徒たち)は、「ひと時と、ふた時と、半時の間」「彼の手にわたされ」ました。ダニエル書 7:25

この点に関連する事柄を明白にしておく必要があります：

1. ひと時は一年、ふた時は二年、半時は半年です。 *詳訳聖書(The Amplified Bible)* は、「三年半」と訳しています。⁴
2. この同じ期間が、ダニエル書と黙示録で 7 回述べられています (ダニエル書 7:25 ; 12:7 ; ヨハネの黙示録 11:2, 3 ; 12:6,14 ; 13:5)。ひと時とふた時と半時は 3 回、; 42 ヶ月は 2 回 ; 1260 日が 2 回 です。ユダヤ人によって使用されていた 30 日カレンダーを基にすると、これらすべてが同じ長さの期間になります：
3 1/2 年 = 42 ヶ月 = 1260 日
3. 預言の一日は、実際の一年に相当します (エゼキエル書 4:6 ; 民数記 14:34)。
4. 従って、小さい角(反キリスト)は、聖徒たちを、預言の 1260 日、あるいは実際の 1260 年の間、支配したということです。
5. 法王制の統治は、三つの敵対者であるアリウス派王国の最後の国を倒したのちの、紀元 538 年に始まりました。その統治は、ナポレオンの参謀長であったベルティエが、法王ピウス 6 世と、法王制の政治権力を抹消することを望み、法王を捕らえた紀元 1798 年まで続きました。この期間は、1260 年の預言の正確な成就です。この打撃は法王制にとって致命的な傷でしたが、その傷は癒え始め、今日癒え続けています。
6. この同じ迫害の期間が、マタイによる福音書 24:21 で、神の民が、それ以前には経験したこともないような最も恐ろしい迫害の時として述べられています。22 節で、それは非常に痛烈なものであると、もし神がその期間を縮められないならば、生き残る人は一人もいないと書かれています。けれども神はその期間を縮められました。迫害は、法王が捕らえられた 1798 年よりかなり前に終わりました。これらの事実も明らかにローマ法王制に当てはまります。

H. 神を冒瀆する「いと高き者(神)に敵する言葉」を語ります。

聖書の中で、冒瀆 (blasphemy) という言葉には二つの定義があります (日本語聖書では「汚す」と訳されています)。

1. 人の罪をゆるすことができると主張する。(ルカによる福音書 5:21)
2. 自分は神であると主張する。(ヨハネによる福音書 10:33)

これらは、ローマ法王制に当てはまるのでしょうか？ 当てはまっているのです！ でははじめに、罪をゆるすことができると称していることの証拠を見てみましょう：「司祭は、本当に罪をゆるすことができるのか？ または、彼はただ罪のゆるしを宣言するだけなのか？ 司祭は、キリストによって彼 (司祭) に与えられた権威に基づいて、本当に罪をゆるすことができる。」⁵ さらに、法王制度が、地上の司祭に罪を告白する制度を作り上げたことは、イエスの働きを根底から破壊するものであり、それは、われわれの大祭司 (ヘブル人への手紙 3:1 ; 8:1,2) であり、唯一の仲保者 (テモテへの第一の手紙 2:5) であられるキリストを素通りしてしまうということなのです。

次に、自分が神であると主張している証言についての考察です：「われわれ (法王たち) は、この地上に、全能の神の地位を有している。」⁶ ここに、もうひとつあります：「法王はイエス・キリストの代理だけではなく、彼は肉の覆いの下に隠れているイエス・キリストご自身である。」⁷

これらの点も同じように疑いなく、ローマ法王制度に当てはまります。

I. 「時と律法とを変えようと望む」。

このあとに続く聖書研究講座で、この「時」に関する学びを取り扱います。これは重要な課題ですので、それぞれ別にして熟考する必要があるからです。では「律法」を変えるということに関してはどうでしょうか？ 祈訳聖書 (The Amplified Bible - 英語) は、この聖句の「律法」を、定冠詞のついた「the law」と訳しており、特定の律法を指しています。ですから、この聖句は、神の律法の変更について述べていることがわかります。もちろん、実際にだれも神の律法を変えることはできません、そうであるのにローマ法王制度は、変更しようと企てたのでしょうか？ 答えは「そのとおり」です。



反キリストは、神の律法を変えようと試みると聖書は述べている。

カテキズム (カトリックの公教要理) の中で、ローマ法王制度は、(刻んだ) 像の崇拝を反する十戒の第二条を省き、そして第四条の戒めを 94 の言葉から 8 の言葉に短縮し (参: 英語において)、第十条の戒めを二つに分けました (これらをご自分で調べてみてください。カトリックのカテキズムにある十戒と、出エジプト記 20:3-17 の十戒の項目を比べてみてください)。ダニエル書 7 章の小さい角の権力 (反キリスト) がローマ法王制度であるという事は疑う余地がありません。ほかのどんな組織も、これらの九つの項目に該当しません。付随ですが、これらは新しい教えではありません。すべての宗教改革者たちは、例外なく、ローマ法王制が反キリストであると説明していました。⁸

注意すべき重要な一言

小さい角の権力を特定することで、私たちが同じ信仰を持つクリスチャンたちを攻撃しているとお考えになりませんように。この預言は、個人ではなく、組織に対して語られているものであることをどうぞ心に留めてみてください。カトリック教会を含め、すべての教会には、誠実で、信心深いクリスチャンたちがおります。ダニエル書 7 章は、異教と妥協した大宗教組織と、また、そのあとに起こった多くの教会に対する裁きと、改革を促すメッセージです。

預言はすべての教会の誤りを明らかにする。

そのほかの預言は、プロテスタント教会、そしてユダヤ教の誤りを指摘するものです。神は、すべての宗教組織の中に、真の聖徒を持っておられます。神の真の聖徒たち (彼らがどの教会に属しているかに関係なく) は、自己を防御することで神に対して、聞く耳や心の扉を閉ざすことなく、常に謙虚な心で主の譴責を受け入れます。私たちは、すべての事柄において、偏りのない誠実で純粋な神の言葉が語られていることを感謝するべきです。

¹ W. E. H. Lecky, *History of the Rise and Influence of the Spirit of Rationalism in Europe*, Volume 2, p. 40.

² Alexander Clarence Flick, *The Rise of the Medieval Church*, pp. 148, 149.

³ Adolf Harnack, *What is Christianity?* (New York: Putnam, second edition, revised, 1901), pp. 269, 270.

⁴ *The Amplified Bible*, Zondervan Publishing House, Grand Rapids, Michigan 1962.

⁵ Joseph Deharbe, S.J., *A Complete Catechism of the Catholic Religion* (New York: Schwartz, Kirwin & Fauss, 1924), p. 279.

⁶ Pope Leo XIII, Encyclical Letter "The Reunion of Christendom" (dated June 20, 1894) trans. in the *Great Encyclical Letters of Pope Leo XIII* (New York: Benziger, 1903), p. 304.

⁷ *Catholic National*, July 1895.

⁸ R. Allen Anderson, *Unfolding the Revelation*, p. 137.

9. ダニエルは、「終わりの時」まで彼の書を封じておくように言われたのではないのですか (ダニエル書 12:4) ? ダニエルの預言が、私たちが理解するために開かれるのはいつですか ?

答え : ダニエル書 12:4 において、預言者は、「終わりの時」までこの書の一部を封じておくように言われました。6 節で、天使の声は、「この異常 (不思議-英語欽定訳) なできごとは、いつになって終わるでしょうか」と尋ねました。7 節で、「それは、ひと時とふた時と半時である。」と答えています。天使は、ダニエルに、ローマ法王制が支配する 1260 年間の終りを告げた「終わりの時」 - これはこの聖書講座です。すでに学んだように 1798 年ですが、それからこの書の終わりの時に関する預言の部分が開かれると保障しました。ですから終わりの時は、1798 年に始まりました。明らかに、ダニエル書は、今日の私たちのために、天からの重大なメッセージが含まれていることがわかります。私たちはこのメッセージを、必ず理解しなければなりません。



ダニエルは、この書物の預言は、1798 年の終わりの時まで封じておくように天使に言われた。

10. 今日、多くのクリスチャンは、残念にも反キリストに関して誤ったことを教えられています。反キリストについて真実でないことを信じることで容易に欺かれ、そして失われてしまうという結果になってしまいます。新しい聖書の教えに出くわしたときに、私たちはどうするべきでしょうか ?

「ここにいるユダヤ人はテサロニケの者たちよりも素直であって、心から教を受け入れ、果してそのとおりかどうかを知ろうとして、日々聖書を調べていた。」使徒行伝 17:11



答え：新しい聖書の教えに出くわしたときに、ただひとつの安全な手順は、それが神の言葉と調和しているかどうかを注意深く聖書と照らし合わせて確かめることです。

すべての教理は、それらが正しいものであるかを定めるためには、聖書と照らし合わせなければならない。

11. 私は、たとえそれが苦痛を伴うものであっても、イエスが導かれるところへ喜んで従っていきます。

結びの言葉

聖書の中のダニエル書やヨハネの黙示録からの多くの重要な預言が、これからの聖書研究講座で取り上げられます。神は、以下に記されている預言を与えてくださっています：

- A. 地球の終わりの出来事を明らかにします。
- B. イエスとサタンとの最後の段階の戦いに関する者たちを見極めます。
- C. われわれすべての者を陥れ、滅ぼそうとするサタンの邪悪な計画が明解、明瞭になります。
- D. 裁きに対する保障と愛を提示します；神の聖徒たちは擁護されます！
- E. イエスの救い、愛、力、あわれみ、そして義を掲げます。

主要な登場者は、繰り返し現れます。

イエスとサタンの間における最終的な戦いにおける重要な登場者は、これからの預言の中で繰り返し現れます。それらは：サタン、イエス、アメリカ合衆国、ローマ法王制度、プロテスタント主義、心霊術です。イエスは、彼の愛と保護の警告が明確で明瞭にされ、それらが確実に伝えられるために、預言におけるイエスのメッセージを繰り返し、そして更なる説明を与えてくださいます。



答え：

- はい
- いいえ

質問

1. 私は常に、反キリストは組織ではなくて、むしろ人であると思っていました。まちがっていますか？

ダニエル書 7:8

反キリストは組織であり、それはローマ法王制度です。とはいえ、ダニエル書 7:8 に書かれている「人の目」という言葉は指導者を指しています。黙示録 13:18 では数字が関わっている人間のことが述べられています。ダニエル書 8 章で、ギリシャは、やぎとして表されており、その頭であるアレキサンダー大王は、角によって象徴されています。反キリストに関しても同じことが言えます。反キリストは組織ですが、ローマ法王制度です。在任している法王は、組織の代表者です。ダニエル書 7 章の預言は、法王は悪で、そのカトリック教徒はキリスト教ではないと言っているものではありません。多くの親切な愛に満ちたカトリックのクリスチャンたちがおります。しかしながら、組織は反キリストと呼ばれています、なぜならこの組織がイエスの権威を奪い、神の律法を変えようと企てたからです。

2. キリスト教を強制する法律を制定することは、クリスチャンとして賢明なことでしょうか？

ヨシュア記 24:15

いいえ、聖書には、すべての人が、それぞれの良心に従って、自らが進む道を自由に選ぶべきであることが明確に示されています (ヨシュア記 24:15) -- それはたとえ、彼らが神を拒み、無神論者になることを選んだとしてもです。神は、アダムとエバに、この二人と神が苦痛を味わうことになったとしても、神に服従しないことを選ぶことをゆるされました。強制的な礼拝を、神は受け入れることはできません。神の方法は、愛によって諭すことなのです。教会がその信仰

を強制するために法律を定めるときにはいつでも、人々を迫害し、殺害する結果になることを歴史は証明しています。これが中世の時代における小さい角の歴史から私たちが学ぶことのできる教訓なのです。

3. おそらく私の理解が間違っているかもしれませんが、反キリストという私の概念は、常に、公然と神に対抗する悪者ということでした。この概念は間違っているでしょうか？

ヨハネの第一の手紙 4:3

私たちは通常、「反」という言葉を「対抗する、または逆らう」という意味であると考えます。けれども「反キリスト」において、その意味は、「...に代わって」または、「...の代わりに」となります。反キリストは、神の権限を我が物とみなす過ちを犯しています。反キリストが主張していることは：

- A. 司祭は罪をゆるすことができる。しかし罪をゆるすことができるのは神のみである（ルカによる福音書 5:21）。
- B. 変更した神の戒めを保持するために、戒めの第二条（造った像を拝むこと）を省き、第十条を半分に分けた。神の戒めは変更することはできない（マタイによる福音書 5:18）。
- C. 法王は地上の神である。

サタンの最初の計画

サタンの最初の計画（天において）は、神の地位と権限を自分のものにするものでした。サタンのねらいは、神を追い出し、神に代わって統治することでした（聖書研究講座 2 課参照）。サタンが天から追放された時、彼の目的は変わるどころかむしろ強化されました。何世紀にもわたって神に不名誉を着せ、神の地位を奪取しようと（さまざまな人間の代理を用いて）努力してきました。

反キリストは、聖なる存在として現れる。

サタンは、この終末時代において、人々を欺いて、神の代わりに、霊的で、聖人のように見える反キリストに人々を従わせることを目標としています。ダニエル書とヨハネの黙示録の預言のおもな目的は、サタンのわなと手段を暴露し、イエスに堅い土台を据え、御言葉に留まるように人々を導くことです。

反キリストは多くの人を惑わす。

ほとんどの人が、キリストに従っていると考えながら、反キリストに従ってしまいます（ヨハネの黙示録 13:3）。ただ聖書の中で選民と呼ばれている人たちだけが安全です（マタイによる福音書 24:23,24）。彼らが安全な理由は、すべての霊的な教えや指導者のことを御言葉によって試すからです（イザヤ書 8:20）。今日、宗教的な誤謬は、あらゆるところに存在していますので、私たちは、どんなに注意をしてもし過ぎるということはありません。

4. 聖書は、ヨハネ第一の手紙 2:18-22 において、多くの反キリストが存在すると言っていませんか？

ヨハネの第一の手紙 2:18

はい、歴史を通じて、神の王国に敵対して働いてきた多くの反キリストが存在してきました。しかしながら、預言されているすべての反キリストの特徴を明確に満たしているのは一つの存在しかありません。ダニエル書の 7 章と 8 章、ヨハネの黙示録 13 章において、あなたは、最低でも 10 箇所、反キリストの特徴を見極めることができるでしょう。これらの 10 の特徴と合致しているのはただ一つの存在しかありません、それはローマ法王制度です。

5. 預言において、象徴としての「獣」は、「獣のような」特徴を持つるという意味ですか？

ヨハネの黙示録 13:1

まったく違います。神は、統治者、国、政府または王国を示すために、獣の象徴を用いておられます。これは預言において、政府のことを表現するための神の方法です。私たちが、程度の差はあれ、同様のことをしています。例を挙げると：ロシアを熊、アメリカ合衆国を鷲として象徴しています。象徴としての「獣」という用語は、品位を傷つけたり、また見下す意味で使われたものではありません。これは「動物」または「生き物」などの言葉の同義語です。キリストも、バプテスマのヨハネ（ヨハネによる福音書 1:29）や、使徒ヨハネ（ヨハネの黙示録 5:6, 9, 12, 13）によって小羊として描写されています。「獣」という用語は、国々や指導者たち、そして善と悪に関するメッセージを、神が私たちにくださるために用いられました。

クイズ

1. ダニエル書 7 章において、獣で象徴されている 4 つの世界帝国は何ですか？(4)

- スウェーデン
- エジプト
- ギリシャ
- 中国
- メド・ベルシャ
- 日本
- バビロン
- イラク
- ローマ

2. 聖書の預言において、獣は何を象徴していますか？ (1)

- コンピューター
- 王国、または国
- 生き物、または他民族

3. 恐るべき獣の10の角は何を象徴しますか？(1)

- 10年
- 10の特別な町
- 天使
- 金持ち
- 異教ローマが最終的に分裂した10の国々

4. いくつの民族、または国が、小さい角の権力によって引き抜かれましたか？(1)

- 8
- 1
- 6
- 3

5. 小さな角、あるいは、反キリストは何を象徴しますか？(1)

- バビロンの將軍のひとり
- 異教ローマからの邪悪な統治者
- イエスの再臨ののちに起こる悪の権力
- 無神論主義
- ローマ法王制度

6. 下記のリストから、小さい角（反キリスト）に関して、正しく述べているものを選んでください。(3)

- エジプトから来た。
- 神の民を迫害する。
- バビロンが滅びた直後に現れた。
- 神に敵対して大いなる言葉を語る。
- 神の律法を変えようと試みた。

7. 預言においては、「ひと時と、ふた時と、半時」の象徴は何ですか？(1)

- 文字通りの三日と半日。
- 42年。
- 文字通りの1260年。

8. 「終わりの時」は、いつ始まりますか？(1)

- 紀元31年
- 紀元1991年
- 紀元588年
- 紀元1798年

9. 反キリストは、人というより、むしろ組織です。(1)

- はい
- いいえ

10. 反キリストは今日存在します。(1)

- はい
- いいえ

11. 神は、法律によって、真の礼拝を強要することを認められます。(1)

- はい
- いいえ

12. ナポレオンの参謀長であった將軍ベルティエが、ローマ法王を捕らえたことは、ただ法王制に傷を与えただけでした。その致命的な傷は癒され始め、今日も癒え続けています。(1)

- はい
- いいえ

13. 下記のリストのうち、この終わりのときにあって、神の民が靈的に安全であるために必要不可欠なことは何ですか？ (1)

- 説教することを学ぶ。
- 公の場で多く祈る。
- すべての宗教的な教えを、聖書によって試す。

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.